

# ふかや 市議会 だより

NO. 70 2023. 6. 7



- 新議員紹介 P2~3
- 特集 新年度予算決まる P4~7
- 市政のここが聞きたい P9~17  
(市政一般質問)



ミルク おやし  
**村川 徳浩 (63)**  
無所属 当選4回  
東方2603番地  
電話572-4228



とみた まさる  
**富田 勝 (71)**  
無所属 当選6回  
武蔵野3400番地  
電話584-1620



たぐち ひでお  
**田口 英夫 (67)**  
無所属 当選3回  
東方町1丁目5番地1  
電話573-4997



さくま なな  
**佐久間 奈々 (49)**  
日本共産党 当選3回  
武蔵野3995番地7  
電話090-5582-8020



こいずみ まこと  
**小泉 誠 (69)**  
れいわ新選組 当選1回  
常盤町55番地77  
電話090-9829-8558



いまい けいいちろう  
**今井 慶一郎 (50)**  
無所属 当選2回  
寿町156番地201  
電話871-5415



もてぎ いちろう  
**茂木 一郎 (72)**  
無所属 当選3回  
岡2635番地1  
電話585-2356



ながた かつひこ  
**永田 勝彦 (79)**  
無所属 当選5回  
長在家198番地  
電話583-2095



たじま ひでおき  
**田島 秀興 (42)**  
無所属 当選1回  
武蔵野2338番地2  
電話080-4440-1718



しみず けんいち  
**清水 健一 (62)**  
無所属 当選5回  
小前田2406番地8  
電話584-0395



こばやし まこと  
**小林 真 (59)**  
無所属 当選2回  
上増田293番地  
電話571-4731



おか ひとし  
**岡 仁 (54)**  
無所属 当選1回  
田中763番地  
電話090-9317-9644



やまで ひであき  
**山出 秀明 (65)**  
無所属 当選1回  
西島町2丁目17番地6  
電話571-1809



はちす よしのり  
**八須 由憲 (69)**  
無所属 当選1回  
北阿賀野309番地3  
電話090-1606-1413



つなぎ ゆか  
**繫 由香 (49)**  
公明党 当選1回  
東方2059番地6  
電話575-5180



すずき みつお  
**鈴木 三男 (73)**  
日本共産党 当選4回  
上野台50番地13  
電話573-7552



ごま くみこ  
**五間 くみ子 (53)**  
公明党 当選5回  
上野台2352番地  
ダイアパレスBW深谷812号  
電話574-7027



かきざわ ゆうすけ  
**柿澤 祐介 (45)**  
無所属 当選1回  
新井302番地1  
電話571-0888



ゆもと てつあき  
**湯本 哲昭 (73)**  
無所属 当選2回  
蓮沼856番地1  
電話572-6462



ふくしま ひでき  
**福島 秀樹 (56)**  
無所属 当選2回  
岡2655番地6  
電話585-4594



つのだ よしのり  
**角田 義徳 (45)**  
無所属 当選3回  
後榛沢436番地2  
電話585-0722



たかだ ひろゆき  
**高田 博之 (78)**  
無所属 当選7回  
上敷免322番地  
電話571-0039



さかもと ひろし  
**坂本 博 (56)**  
公明党 当選1回  
萱場46番地1  
電話090-2532-9657



かとう としえ  
**加藤 利江 (74)**  
無所属 当選6回  
上柴町東3丁目5番地20  
電話574-1717

氏名(50音順・敬称略)、年齢(6月1日現在)、党派、当選回数(旧市町での当選回数を含む)の順に掲載しました。  
電話番号(七桁表記)の市外局番はすべて048です。

予算特別委員会  
委員長 清水 健一



議長を除く議員23名で審議しました。  
2日間の予算審査で審議項目は93項目。

議長  
小嶋 隆



新年度予算については、施政方針との整合性や財政運営の健全性の審査、新規事業の概要説明や、議員間の情報共有が必要なため、予算特別委員会を設置し集中審議を行いました。

## ●都市整備

### 原郷上野台線整備事業

- Q 予定事業が3つあるが、事業別の予算額は。
- A JR施行委託については13億1,141万9千円である。支障物件の切り回しについては、今年度契約締結した雨水管切り回しに係る令和5年度分の工事費が2億3,400万円。アプローチ修正設計は委託料として5,000万円計上している。

### 原郷上野台線整備事業補助金

- Q 国庫補助金1億3,114万円の詳細説明を。
- A 従来だと13億1,141万9千円の半額が国庫補助になり得るが、最近の国の動向で、満額交付決定をいただけない状況である。内部の財政計画上では、その3割程度を見込んでおり、予算上では更に厳しく20%で計算したため、50%×20%ということと1億3,114万円としている。

### 道路維持管理事業

- Q 高畑地内の排水ポンプ改修工事について、財源内訳を見ると地方債の起債によると思うが、国・県からの助成はないか。
- A 防災対策事業債の充当を予定している。国庫補助等も模索したが、該当するものがなく、起債を活用することとした。

## 予算審議 (特別委員会集中審議)

## ●総括

- Q 前年比、農林水産費がマイナス31.4%、土木費が前年に比べて38.4%増となった要因は何か。
- A 農林水産費については、パティオの工事進捗によるもの。大きな要因としては、前年度は電気設備や機械工事があったが、今年度はそのような工事がなかった。その他としては、ねぎサミット、収入保険の加入促進やGAPの関係など農業振興に資するため拡充した予算もあるが、減額の要因の方が大きく31.4%減となった。また、土木費については、大きな要因として原郷上野台線事業進捗によるもの。令和5年度については、線路下の工事が予定されるため、事業費が大きくなっている。加えて、中央土地区画整理事業については、物件補償費等が増となっているため、土木費を押し上げている。
- Q 自主財源について、令和4年度予算比較で6億3千万円の増を見込んでいるが、どのような内容か。
- A 要因については、市民税、固定資産税などの市税及び花園IC拠点プロジェクト土地貸付収入の増加。一方、保育料の無償化拡充による負担金や繰入金金の減少による結果、約6億3,500万円の増となった。

## ●教育

### 小・中学校給食事業

- Q 食材価格の高騰による保護者負担軽減のための給食費の補助とあるが、その額はいくらか。
- A 現行の約10%に当たる額を価格上昇分と算定しており、小学校は合計2,981万円、中学校は約2,019万円である。

### 小学校健康・安全教育推進事業

- Q こども110番の家について。令和4年度は2,017件の登録があるとのことだが、居住中の確認はとれているのか？
- A PTA地区理事の方々にご協力を頂きながら、現状を把握している。

### ふっかちゃんヘルメットサポート事業

- Q 重さ対策や暑さ対策など考慮しているのか。
- A 登下校の荷物は、いわゆる置き勉を励行している。また、暑さ対策では、クールタオルの利用や必要に応じて水分補給を各学校で指導している。

## ●福祉

### 深谷赤十字病院運営費補助事業

- Q 深谷赤十字病院の運営費補助がここ数年同額の理由は。
- A 埼玉県の救急救命センター運営事業補助金交付要綱に定める3分の1を上限に、県北8市町がそれぞれの負担割合に応じて助成を行っている。なお、負担割合については深谷赤十字病院の過去3年間の救急入院等の実績により3年に一度見直しを行っており、前回の見直しが令和3年度であるので、令和5年度までの3年間において補助金の額が同額となる。
- Q 放射線治療の装置整備の更新費用は深谷市単独で補助を行ったが、深谷赤十字病院の運営費補助と同様に、8市町で負担案分ができないか。
- A 放射線治療患者の約6割が深谷市民であること、深谷赤十字病院については、県北地域の二次、三次的な救急機能を担う他、市民病院的な側面も併せ持っていることから、補助金の支出は市民にとって有益であるので市単独で対応していく。

## 令和5年度深谷市当初予算7議案を集中審議

令和5年度深谷市議会第1回定例会は2月22日に開会し、3月17日までの24日間の日程で開かれました。深谷市議会では、新年度予算の議案を予算特別委員会へ付託し、委員会で集中審査を行っています。令和5年度予算については、小嶋議長を除く23名の議員で構成される予算特別委員会で審査しました。

令和5年度の一般会計当初予算は、540億7,137万5千円で、前年に比べ17億8,542万8千円(3.4%)の増額となりました。これは、川本複合施設建設事業やパティオ長寿命化工事の進捗に伴う予算が減額する一方、保育料の完全無償化や幼稚園・子ども館複合施設建設事業など、子育て支援に関する施策、また、原郷上野台線整備工事の進捗に伴う予算の増額など、将来のまちづくりに必要な事業を着実に推進するための経費を計上した結果、前年度比3.4%の増額となったものです。主な審議内容は、5ページから6ページのとおりです。

## 大きな事業が同時進行(令和5年度)

～「誰一人取り残さない みんながうれしい ふかや」の実現に向けて～

### 私立保育施設運営事業 46億6,400万7千円



### 川本複合施設建設事業 2億4,089万8千円



川本複合施設のイメージ

### 常備消防車両購入事業 2億5,148万1千円



配備予定車両(支援車II型)

### 論語の里施設管理活用事業 1億8,715万円



渋沢栄一アンドロイドと映像などを組み合わせた展示体験(「中の家」母屋内)

討論

議案第19号 令和5年度深谷市国民健康保険特別会計予算

反対討論
国保加入世帯の約75%は、所得200万円以下で、法定軽減を受けている世帯は約58%だが、新型コロナウイルス感染症や諸物価の値上がりで、市民のくらしが大変な時に、高すぎる国保税の負担は暮らしをさらに大変にする。次に、加入者の多くが、今でも高すぎる国保税の

賛成討論

賛成討論
地方財政計画、新型コロナウイルス・物価高対策、事業展開、経済・社会情勢等を考慮し最大規模の予算編成となったが、繰出金、起債抑制も認められる。後期基本計画取組元年となる予算であり、SDGs未来都市への挑戦、子育て支援における全国をリードする保育料完全無償化、移住定住推進における補助メニュー創設、農業施策として収入保険・GAP取得補助、アグリテック新展開、DX及びゼロカーボン取組拡充等、大いに評価でき、賛成である。
三田部 恒明

討論

議案第18号 令和5年度深谷市一般会計予算

反対討論
子どもの貧困対策の一つでもあり、また食育としての教育の一環である給食費の無償化を実現すべきである。次に、熊谷市や寄居町でも実施している中小業者を支援し、地域経済の振興を図る一般住宅リフォーム助成制度の創設を求め、一般住宅のリフォーム助成制度の創設を行うべきである。また、難聴の高齢者を支援し、認知症予防に効果があるといわれている補聴器の購入費の助成制度の創設を求めている。以上が予算化されていないので反対である。
鈴木 三男

賛成討論

引き下げを求めている。また、人間ドック又は脳ドックの費用の一部を助成する制度で、対象年齢の拡大と合わせ助成額を17,500円から3万円に引き上げるなどの評価できる事業もあるが、国保税の完納要件があるなどの問題もあるので反対する。
鈴木 三男

請願の審査結果

請願第10号(不採択)
消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出に関する請願
消費税減税を求める深谷・寄居ネットワーク
小林 真 ほか8名

賛成討論

インボイス制度は、益税問題対策をはじめメリットは多い。しかし、事務作業に十分時間が取れない小規模事業者にとっては大きな負担となる。働き方改革で副業化を含めてやりたいことを仕事にするスモールビジネス創業の役割は大きい。支援の意味でも総務的な事務負担は簡略化したい。周囲の事業者同士の会話からはまだ制度は浸透しきっておらず、大企業と小規模事業者、経済の分断にも結びつくインボイス制度導入は延期したい。
小林 真

反対討論

インボイス導入の問題点①物価上昇に繋がる②消費者と事業者、事業者同士で負担の押し付け合いになっている③インボイス制度公表サイトによる個人情報漏洩④再生エネルギーの仕入税額控除相当分を電力会社が負担するが、その損失分を電気料金に上乗せという形で賄われることが検討されているので、電気料金が値上がりになるおそれがある⑤周知が不十分なことなどで問題が起きていく。以上のことから、事業者の方の理解と納得のもとすすめるようになるまで当面の間、延期が必要である。
佐久間 奈々

産業

農業施策推進事業

- 収入保険加入促進補助金の内容と金額、戸数は。
地球温暖化の影響で、降ひょう、突風被害、新型コロナの影響による農作物の価格低迷など農業経営が不安定となっている中、農業者の経営の安定などを目的に、収入保険への加入を促進するため、令和5年度から実施する補助制度である。収入保険は、全国農業共済組合連合会が、自然災害や価格の低下などによる収入の減少を補填するが、過去5年間の平均収入の9割を下回った時にその9割を上限に補填する。収入保険に加入するには青色申告の実績が1年以上あることが必要で、国が保険料の2分の1を負担する。令和5年度の予算は、法人の新規の加入分として10経営体に対する補助(保険料の2分の1、上限額20万円)を見込み、総額200万円である。
保険加入ができる要件、青色申告などを行っている経営体は市内に何件あるのか。
現在、青色申告の方は877経営体で、法人43、個人が834ある。
周知の方法は。
ホームページや農協などを通じて周知し、独自のチラシを農家に配布する。

防災

防災施設整備維持事業

- 新たな事業として、避難情報等架電サービスの導入とあるが内容は。
現在、防災情報を防災行政無線、メール配信、ツイッター、市ホームページ等で行っているが、メールやネットが利用できない方等に、大事な避難情報等の緊急性の高い情報を、事前に登録していただいた方に電話でお知らせする事業で、導入費用は約30万円、翌年からのランニングコストは約15万円である。
IP無線機の拡充に約250万円とのことだが、内容は。
IP無線機は東日本大震災等で様々な通信規制が行われた中でも規制が非常に少なかった実績があり、災害時に有効な通信手段となるので、現在の27台から45台に拡充するものである。

防災機能強化事業

- 防災士資格取得補助とあるが、今現在何人で今回、何人を予定しているのか。
平成30年から本制度を利用して防災士を取得した方は9名であり、本年度は5名を予定している。

人事案件

- 深谷市行政監察員 吉田 俊輔
深谷市固定資産評価員 大屋 孝成
深谷市固定資産評価 審査委員会委員 高野 誠一
深谷市教育委員会委員 久保田 みずき



3月定例会 議案等に対する各議員の賛否 (一部掲載)

【○：賛成、×：反対】

Table with columns for Party Name (会派名), Member Name (議員名), and various bills (議案等). Rows include bills for health insurance, education, environment, and budget. The last row is for the consumption tax invoice system implementation delay request.

※議長は可否同数のみ採決に参加します。

議会のうごき

Calendar of council activities for January, February, and March. Includes dates and descriptions of meetings, committee work, and public inquiries.



# 市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

## 質問項目一覧 (通告順)

スマートフォンなどをお持ちの方は、氏名の下のQRコードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

- |                                                       |                                                                 |                                                                                 |
|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| <b>加藤 利江</b> .....P9<br>・高齢者福祉の観点<br>・就労機会の提供<br>・敬老会 | <b>福島 秀樹</b> .....P12<br>・スポーツ・部活動の振興                           | <b>鈴木 三男</b> .....P15<br>・難聴者支援<br>・公民館                                         |
| <b>清水 健一</b> .....P10<br>・地域医療<br>・歴史と文化のまちづくり        | <b>五間 くみ子</b> .....P13<br>・子どもの居場所作り                            | <b>佐久間 奈々</b> .....P16<br>・花園IC拠点整備プロジェクトの取支計画<br>・不登校生徒への支援                    |
| <b>村川 徳浩</b> .....P10<br>・花園IC拠点整備プロジェクト<br>・マイナス入札   | <b>田口 英夫</b> .....P13<br>・障害者の福祉施策                              | <b>茂木 一郎</b> .....P16<br>・市道の街路樹と植樹                                             |
| <b>中矢 寿子</b> .....P11<br>・自治会<br>・深谷市公共交通             | <b>馬場 茂</b> .....P14<br>・下水汚泥活用<br>・地域通貨導入戦略                    | <b>角田 義徳</b> .....P17<br>・統一地方選<br>・市の発信力                                       |
| <b>柴崎 重雄</b> .....P11<br>・新型コロナウイルス感染対策<br>・渋沢栄一翁顕彰   | <b>今井 慶一郎</b> .....P14<br>・小中学校の教育<br>・建物の安全                    | <b>小林 真</b> .....P17<br>・新たな福祉のかたち<br>・豊かな市民の暮らし<br>・ばらつきと余裕が十分な教育<br>・より魅力的な市政 |
| <b>永田 勝彦</b> .....P12<br>・市道の安全対策                     | <b>三田部 恒明</b> .....P15<br>・中小企業政策<br>・自治体DX<br>・こども基本法<br>・環境問題 |                                                                                 |

## 5月臨時会

# 臨時会で新たな体制整う

市議会議員一般選挙後初めての臨時会が5月19日に開催されました。臨時会では、正副議長の選挙が行われ、議長に茂木一郎 議員が、副議長に今井慶一郎 議員が選出されました。その後、各常任委員会委員や一部事務組合議会議員等を選出し、市民の負託を受けた4年間の議会活動がスタートしました。また、市長から提出された専決処分4件が審議されました。

## 議長・副議長 就任あいさつ



議長 茂木 一郎

副議長 今井 慶一郎

市民の皆様には、日頃より深谷市議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

このたび、令和5年深谷市議会第1回臨時会におきまして、議員各位のご推薦により、議長・副議長の要職に就任いたしました。大変光栄であります。

市民の皆様には、日頃より深谷市議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

このたび、令和5年深谷市議会第1回臨時会におきまして、議員各位のご推薦により、議長・副議長の要職に就任いたしました。大変光栄であります。

## 5月臨時会 議案等の審査結果一覧表

- ◆専決処分の承認◆
  - 報告2号 専決処分の承認を求めることについて (深谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例)
  - 報告3号 専決処分の承認を求めることについて (深谷市税条例及び深谷市都市計画税条例の一部を改正する条例)
  - 報告4号 専決処分の承認を求めることについて (深谷市印鑑条例の一部を改正する条例)
  - 報告5号 専決処分の承認を求めることについて (令和5年度深谷市一般会計補正予算(専決第1号))

## 議会運営委員会

- 清水 健一
- 五間 くるみ
- 鈴木 秀樹
- 角田 義徳
- 田口 英夫
- 村川 勝彦
- 永田 彦

## 常任委員会

- 小坂 博真
- 坂本 林
- 茂木 一彦
- 永田 勝彦

## 総務委員会

- 湯本 哲昭
- 八須 憲昭
- 柿澤 祐介
- 小泉 誠
- 鈴木 三男
- 富田 利江
- 加藤 秀樹
- 五間 秀樹

## 福祉文教委員会

- 岡島 秀樹
- 佐久間 奈々
- 今井 慶一郎
- 福島 秀樹
- 山崎 仁

## 産業建設委員会

- 田口 英夫
- 田島 秀明
- 山出 秀明
- 繋水 由香
- 清水 健一
- 角田 義徳
- 高田 博之
- 村川 勝彦
- 高田 博之

## 一部事務組合議会議員

- 埼玉県都市ボートレース企業団議会議員 茂木 一郎
- 大里広域市町村圏組合議会議員 山本 秀樹
- 湯本 哲昭
- 福島 秀樹
- 湯本 哲昭
- 山本 秀樹
- 高田 博之
- 五間 くるみ
- 清水 健一

## 高齢者福祉の観点から花園文化会館アドニスについて

要望があり、談話室の姿見鏡を1台手配中である



かとう 利江 加藤 利江



映像はこちらから

Q 談話室に鏡が1台きりないので発表会の時などで舞台衣装に着替えるのが大変なので鏡を増やしてほしい。

A 花園文化会館アドニスの指定管理者が、利用者からも同様の要望を伺っており、現在、姿見を1台手配中とのことである。これにより、今後、着替えの際には、スムーズに利用してもらえるものと考えているので、ご理解いただきたい。

Q 敬老会についてなぜ、敬老会を中止したのか。

A 高齢者の健康の保持、安心・安心の確保のためである。

●老人福祉センター福寿荘について

Q 飲食を建物の中でさせてほしいと利用者から要望がたくさん来ている。再開を考えているか。

A マスク着用の方針が緩和されたことにあわせ、令和5年3月14日から福寿荘館内での飲食再開を予定している。



花園文化会館アドニス

「市政のここが聞きたい」の記事は質問者本人が執筆したものを編集し、掲載しております。

**Q** 自治会デジタル化の必要性を感じている。少しずつデジタルに対する垣根を取り払っていく取組を自治会連合会と連携しながら検討を進めて行く。

**A** 自治会デジタル化の必要性を感じている。少しずつデジタルに対する垣根を取り払っていく取組を自治会連合会と連携しながら検討を進めて行く。

**Q** 今年度予算で、避難情報等架電サービス導入やスマートフォンに行政サービスのプラットフォーム機能の構築事業があった。デジタル社会の構築により、自治会運営の簡素化に取り組み、組織改善をすべきと思うがどうか。

**A** 自治会デジタル化の必要性を感じている。少しずつデジタルに対する垣根を取り払っていく取組を自治会連合会と連携しながら検討を進めて行く。

**Q** 自治会活動における課題について「共に解決するべく各自治会に合わせ支援している。」との事。具体的に相談を受けた事があるのか。

**A** 最近の相談では、高齢化に伴う役員の抱い手不足や高齢者の会費納入等についてである。こうした状況を自治会連合会で情報交換しながら各支会にフィードバックしている。



ひさこ 小山 比子



映像はこちらから

**A** 改善できる点があるかどうか庁内で検討していく

**Q** 自治会に依頼する仕事量を減らす検討をすべきでは



**Q** 運行当初から数回の見直しがあった。現在の利用状況や市の負担額等はどうなのか。また、令和4年4月デマンドバス運行形態見直しの際、改めて登録が必要となったと聞く。新規登録者数は何人いるのか。

**A** 市の負担額は、定時定路線とデマンドバス合計して9,290万5,470円である。新規登録者数は、3,033人。見直しの際、市民限定とした。引き続き、便利で安全な「地域の足」となるよう、公共交通の維持確保に取り組んでいきたい。

●深谷市公共交通について

**Q** 運行当初から数回の見直しがあった。現在の利用状況や市の負担額等はどうなのか。また、令和4年4月デマンドバス運行形態見直しの際、改めて登録が必要となったと聞く。新規登録者数は何人いるのか。

**A** 市の負担額は、定時定路線とデマンドバス合計して9,290万5,470円である。新規登録者数は、3,033人。見直しの際、市民限定とした。引き続き、便利で安全な「地域の足」となるよう、公共交通の維持確保に取り組んでいきたい。

**Q** 一昨年の大河ドラマ化、来年春季発行の新一万円札肖像と栄一翁はその貢献を認知され顕彰が進んでいる。そこで、関連施設の見学者数、今後の見込数、有料化の是非、そして新一万円札への取組を聞きたい。

**A** 翁の関連施設（記念館、中の家、惇忠生家）の見学者数は令和3

**Q** 一昨年の大河ドラマ化、来年春季発行の新一万円札肖像と栄一翁はその貢献を認知され顕彰が進んでいる。そこで、関連施設の見学者数、今後の見込数、有料化の是非、そして新一万円札への取組を聞きたい。

**A** 翁の関連施設（記念館、中の家、惇忠生家）の見学者数は令和3

**Q** 3月13日からマスク着用が緩和され、5月8日から「2類相当」から「5類」とされるが、市の取組はどのようなものか。そして、今後のワクチン接種はどうなるのか。

**A** マスク着用は個人の判断に委ねられ、5月8日以降、季節性インフルエンザと同様の対応となる。ワクチン接種は、令和5年度は、公費負担。その後は、国の検討になる。



おしげ 重雄



映像はこちらから

**A** 国・県の動向を注視し、適時、適切な対応をしていく

**Q** 新型コロナウイルスの感染対策はどうなっているのか



新1万円札肖像は渋沢栄一翁

**Q** 旧藤沢消防分署は、市民から活用したいとの要望が上がっていたが、活用方法を十分検討した上で、マイナズ入札の対象となったのか。

**A** 財産活用検討フォーラムに基づき、建物活用も含めて、多角的に検討した結果である。

**Q** マイナズ入札には、公有財産の事務に従事する市役所職員は参加できないとのことだが、関係議案に賛否の判断をする議員に対しても、参加資格を制限するべきではないか。

**A** 参加資格は、市有地売却時の入札参加資格に準じて設定している。法的に議員に対する制限はない。

**Q** 深谷を含む北部医療圏の回復期病床は充分なのか

**A** 令和7年度の目標数に対し673床不足している



けんいち 清水 健一



映像はこちらから

**Q** 今でも回復期病床が不足している中、42床を急性期病床に転換する病院があるようだが要因を伺う。

**A** 当該病院は、近年救急搬送が増加しており、受入れを断るケースが増え深刻な救急病床の不足が生じていることから北部地域医療調整会議にて病床機能の転換が承認された。

**Q** 国は大病院に患者が集中して、治療を必要とする人が治療を受けられない状況を解消するため、かかりつけ医制度を推奨しているが、どんな状況なのか。

**A** 紹介状なしでの大病院受診の場合、初診時に5千円の特別負担金を徴収していたが、状況の改善がみられないので、7千円に引き上げた。

**Q** 5千円を7千円に引き上げても効果がなと思う。医療の実態を丁寧に説明し、理解を戴くべきと思うが、対応について伺う。



ホフマン輪窯6号窯

**Q** 国は平成20年に地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）を施行し、地域の取組を積極的に支援するとして、現在90の市町が認定を受けているが、活用しないのか。

**A** 文化財を活かしたまちづくりに取り組みべきと認識している。現在進めている農業と観光を基軸とした市内回遊と合わせて研究していく。

**Q** 国から示されたガイドラインに基づき、市民の皆様には混乱が生じないよう制度の周知啓発に努めていく。

●渋沢栄一翁関連の歴史的文化施設の活用は

**Q** 国は平成20年に地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）を施行し、地域の取組を積極的に支援するとして、現在90の市町が認定を受けているが、活用しないのか。

**A** 文化財を活かしたまちづくりに取り組みべきと認識している。現在進めている農業と観光を基軸とした市内回遊と合わせて研究していく。

**Q** 拠点整備プロジェクトの収支が下方修正された要因は

**A** 施設計画変更による固定資産税の見直しによる



おやし 浩



映像はこちらから

**Q** プロジェクトの収支が、20年間で87・6億円から30年間で94・8億円と下方修正された要因は。

**A** アウトレットの、施設計画が変更された事と税額の試算方法変更による、固定資産税の見直しによる。

**Q** 今回、マイナス要因の報告があった訳だが、このような収支計画の報告を定期的に続ける考えはあるか。

**A** プロジェクトの諸条件に大きな変化が予測された時に、適切な報告が出来るよう産業振興部に引き継ぐ。

**Q** 全国ねぎサミットと深谷花フェスタが、深谷テラスで開催する事となったが、観光客の市内回遊を考えれば、城址公園や中心市街地等で開催すべきではないか。

**A** 様々な検討を行い、関係者と相談した結果、目的達成に最も有効な場所として、深谷テラスを選定した。



旧藤沢消防分署

●マイナズ入札について

**Q** 旧藤沢消防分署は、市民から活用したいとの要望が上がっていたが、活用方法を十分検討した上で、マイナズ入札の対象となったのか。

**A** 財産活用検討フォーラムに基づき、建物活用も含めて、多角的に検討した結果である。

**Q** マイナズ入札には、公有財産の事務に従事する市役所職員は参加できないとのことだが、関係議案に賛否の判断をする議員に対しても、参加資格を制限するべきではないか。

**A** 参加資格は、市有地売却時の入札参加資格に準じて設定している。法的に議員に対する制限はない。

**Q** 現在活動実績のある子ども食堂も含め、本市における子ども食堂対策の一翼を担っていただいている団体である。資金不足のため、活動が立ち行かなくなることも考えられる。活動継続支援として、市独自の補助制度の創設の考えは。

**A** 本市が目指す、地域共生社会の実現に向け、大きな役割を期待されるものとの認識でいる。

**Q** 県の進めている事業ではあるが、本市では、こうした民間による活動を子ども貧困対策、地域の交流拠点であるとの認識でいるのか。

**A** 子ども食堂は8団体が活動。無償学習塾、プレーパークはない。

**Q** 埼玉県では、すべての子どもが生まれ育った環境に左右されず、同じスタートラインに立てる社会を目指し、安心して過ごせる居場所作りが進められている。本市の現状は。



小間 久美子



映像はこちらから

**Q**

県目標である子ども居場所作りを、どう進めるのか

**A** 民間の社会貢献活動の後押しであり必要な支援は検討

**Q** 県の社会福祉協議会が窓口となっている浦和競馬こども基金助成事業の活用などが、活動継続の支援につながるの認識でいる。市独自の補助金は考えているか。

**A** 子どもの居場所として小学校に一つを達成するための本市の支援は、

**Q** 独自の支援制度は設けないが、引き続き活動の周知や公共施設を活動場所として利用いただくなど側面の支援をしていく。

**Q** 今後、公民館等での飲食だが、この施設でも同じ使用ができるのか。

**A** 飲食可能な場所であれば、できるものとの考えでいる。



**Q**

市道の安全対策を早期に求める

**A** 早急に安全対策を実施する



中田 博彦



映像はこちらから

**Q** ●ガードレール等の設置について  
深谷市本田地区に市道S-468号は、吉野川との交差点部分で急カーブし、河川に転落する可能性が高いため、ガードレール等の設置ができないか。

**A** 本田地区の市道と吉野川の交差する直前は、ゆるやかな傾斜で急カーブとなっており、特に視界が悪くなる夜間などでは、判断が遅れ曲がり切れず吉野川に転落する可能性が考えられる。そのため、重大事故を未然に防ぐためにも、転落防止柵などの安全対策を早急に実施していく。



変則的な交差点

**Q**

中学校部活動の地域移行は

**A** 令和5年度から7年度の3年間を改革推進期間とする



福島 秀樹



映像はこちらから

**Q** 中学校部活動の地域移行の今後の取組については。

**A** 当初、スポーツ庁や文化庁への検討会議提言で、令和5年度から7年度を「改革集中期間」として設定し、休日の部活動から段階的に地域移行することの目標時期が「令和7年度末」と示されていた。その後、令和4年12月に策定されたガイドラインで、具体的な目標時期が削除され、令和5年度から7年度までの3年間を「改革推進期間」とし、「地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す」に変更となった。このことを受け、埼玉県教育委員会の局内に「部活動地域移行推進委員会」を設け、部活動改革の骨子についての検討を行い、その後、令和5年2月より、市町村教育委員会を含めた話し合いが始まっている。



運動部活動（野球）

**Q** 深谷市教育委員会が現在検討している内容については。

**A** 部活動の教育的意義や地域移行を進める際の様々な課題を鑑み、今できる改革として「部活動数の適正化」・「放課後の時間を生み出すための週時程や部活動時間の工夫」・「国や県の動向を注視しながら、地域移行の検討」を進めている。

**Q** 令和5年度、地域移行を進めていく上での取組は。

**A** 地域に指導者の受け皿を求めていくことになるため、まずは令和5年度は、教員以外の指導者を広く確保していくために、部活動指導員や部活動外部指導者の増員を進める。

**Q**

手話言語条例等の普及啓発の今後の取組は

**A** 円滑に意思疎通ができる社会の実現に取り組んでいく



大田 英夫



映像はこちらから

**Q** 手話言語条例と障害の特性に合わせた「コミュニケーション手段の確保」に関する条例が制定されてから、どのような施策を実施してきたか。

**A** 広報ふかやに特集記事や、手話コーナーを写真と解説付きで紹介している。また、福祉と健康の合同イベント「FK Fes」でミニ手話講座を開催した。他に、まごころ出張講座の開設等実施した。

**Q** 手話通訳者を派遣してもらおう場合、事前に申請しなくても済むような体制がとれないか。

**A** 手話通訳者の調整がつく場合は、平日でも派遣している。土・日・祝日等も消防本部で緊急FAXの対応をしており、市役所本庁舎では、タブレット端末を利用して遠隔手話通訳ができる体制も整備している。

**Q** これらの条例の普及のために、さらなる啓発活動が必要だと思っ



FK Fesのミニ手話講座

**Q** 今後の取組は。

**A** 聴覚障害者に対する支援は、手話通訳者の派遣や手話通訳者養成講座の実施などで、一定程度の効果は上がっていると考えている。今後は、視覚障害者に対する支援も充実させていく必要があると考えている。このため、視覚障害者を対象にしたアンケートを実施し、どのような支援が実施できるかを検討し、コミュニケーション手段の充実に努めてまいりたい。手話が言語であることの理解促進や、すべての障害者が、円滑に情報を取得し、意思表示や意思疎通ができる社会の実現に向けて、今後も取り組んでまいりたい。

Q

下水汚泥の肥料化はできないか



ば 馬 茂



映像は  
こちらから

A 現在の処理方法が続けていく

用の拡大に向けた官民検討会」において、地域特性に応じて汚泥肥料の利用拡大に取り組むことが自治体の役割とされた。市としては国や県の動向を注視し、他の自治体の取組について研究していく。

Q 国は、各国の輸出規制や円安の影響などにより、海外産肥料価格の高騰を受け下水汚泥の再利用を一気に進める方針を決定。農水省は140億円を使い流通網の整備や肥料会社とのマッチングを図る協議会を設立。国交省は再生リンを生産する新しい設備を建設運営する実証事業費として30億円を計上した。すでに神戸市などでは、下水汚泥からリンの回収に取り組んでいるようだが現状はどうなっているのか。

A 「リッパ再生リン」と名付け、肥料の原料として肥料メーカーに販売。そこで製造された肥料を農協が販売し、市内で生産されるキャベツやスイートコーンなどに肥料が使われている。

Q 汚泥肥料の利用促進をどのように考えているのか。

A 国では「下水汚泥資源の肥料利



●ネギーの使用拡大は出来ないか  
Q 公共料金や市民課窓口での発行手数料等が、ネギーで支払いが出来るようにすると言っていたが。

A 昨年の3月1日よりネギーによる支払いが出来るようになった。

Q 今後の取組の考えは。

A 行政施策への住民参加の推進や行政事業費の削減などに取り組む。

Q

深谷市の特色ある教育の充実について伺う



いま い けい い ち ろ う  
今井 慶一郎



映像は  
こちらから

A 市民が志を高く持てる学校教育を目指していく

Q 洪沢栄一翁に做った、深谷市の子供達だからこぞ育べる教育を学校教育の中にどれくらい盛り込めるのか。

A 例えば、各学年に応じて発行している洪沢栄一翁「こころざし読本」や「深谷の子のつとめ誓い」等の教材の活用、「ふるさと先生」の派遣による洪沢栄一翁の幼少期の頃を交えた説話などをとおして、道徳や総合的な学習の時間で学習している。また、これらの中には「論語」も交えており、小学校では子供たちが暗唱課題としてこれを発表する機会等を設けている。「ふるさとふかや・洪沢学」を広めるため、これから子供から大人までの市民が故郷を愛し、夢を持ち、志高く生きることを目指し、その基盤となる学校教育を充実していく。

●建物の安全について



洪沢栄一翁が学んだ教育をもっと取り込みたい

Q 中小企業庁推計で70歳以上の経営者のうち後継者不在は12.7万人。自治体としても対策に乗り出すべき。事業承継と創業、移住定住を二位一位で支援するスキーム構築を。



つね あ き  
三田部 恒明



映像は  
こちらから

A 一体的に発信し、移住促進に繋がるよう努める

Q 事業承継・創業・移住定住に一体で取り組むべき

を行うしていく。

●こども若者会議の設置推進を

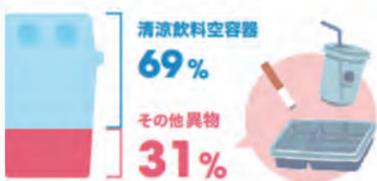
Q 4月こども家庭庁が発足。大切なのは当事者の意見を尊重し、政策に反映出来る仕組みを構築すべき。

A こども基本法に、自治体はこども施策を策定すると共に意見反映への措置が義務付けられており、施策内容等に応じ具体的取組を検討する。

●自販機RB内の異物混入低減を

Q 異物混入率低減活動として、新機能（投入口下向き）RB推進を。

A リサイクルボックスは飲料メーカーが設置・回収・処理を行う。適切な利用への啓発活動推進していく。



自販機横の箱はリサイクルボックスです

Q

補聴器購入費の助成制度を創設すべきではないか



みつ お  
鈴木 三男



映像は  
こちらから

A すでにあるので新たな制度の創設は考えていない

受けられる制度がある。厚労省においても軽度・中等度難聴による「ミニニケーション不足等に関する調査研究を進めているので、現時点では制度の創設は考えていない。

●公民館に社会教育主事の配置を

Q 12月議会で公民館条例の改正により、指定管理者に、公民館の管理業務を行わせることができることしたが、各公民館に社会教育主事の配置ができるのか。

A 社会教育主事等の資格を持つ職員が配置されることは、社会教育事業の充実を図るうえで有効な手段なので、地域振興財団に働きかける。



南公民館の全景

Q

花園ーC拠点整備プロジェクトの収益が半減した理由

A

事業者により施設計画が変更され令和3年7月に報告



さくま なな 佐久間 奈々



映像はこちらから

これらを踏まえ、三菱地所・サイモン(株)により当初案から変更された第1期の施設計画が確定され、令和3年7月に市はその報告を受けた。

ICT等での学習は出席扱いになるか

文科省の通知では、不登校生徒が一定の条件のもと、自宅でICT等を活用した学習を行った場合、指導要録上出席にできる事が示されているが深谷市ではどうか。

令和4年8月の校長会で「オンラインを活用した学習活動を行った場合の指導要録上の出欠の取り扱いについて」周知徹底を図った。



ふかや花園プレミアム・アウトレット

市や市内商工団体などからの要望を三菱地所・サイモン(株)に伝え、その要望に配慮した変更等がされたほか、三菱地所・サイモン(株)により、深谷市に立地するアウトレットならではの魅力を高めるための検討がされたと伺っている。

Q

投票所の所在地、数は現状が適切であるか

A

投票環境は適正であり、投票所の数も適切である



のりひろ よしだ 角田 義



映像はこちらから

現在、市HPシステムは、現システムから後継システムへの移行作業を行っている。デザインの変更は予定しておらず、レイアウトやデザイン等については、今後必要に応じて変更を加えていく。また、スマートフォンからの情報に興味を持ってもらう取組については、深谷市公式LINEの効果的な活用なども含め、今後、総合的に進めていく。

本市も他市町のように、トップページに移住(または定住)サイトを貼り付けるべきだと思つが、よりアクセスしやすいバナーの配置となるよう、見直しを行う。

市の発信力について

WEB上の玄関口であるホームページは、スタイリッシュである方がよい。改善の余地はあると思つが、今後リニューアルする予定はあ



イメージキャラクター入りになりました

Q

街路樹と植樹帯の維持管理について

A

適正な維持管理を行なっていく



いちろう まき 茂木 一郎



映像はこちらから

街路樹と植樹帯のメリットとデメリットを伺つ。

メリットは道路の景観形成や強風を和らげる防風林として、また、植樹帯によって道路と車道の交通を分離すること、安全対策としての機能も果たしている。デメリットは整備に要するインシヤルコストや整備後のランニングコストが発生する。

市道の植栽はどれくらいあるか

市道全体では約2,300キロメートルで、そのうち、幹線道路と遊歩道の延長は約300キロメートルで街路樹は約35キロメートル、一般道も約8キロメートルほどある。サツキなどの植樹帯は54,000平方メートルである。

街路樹と植樹帯の維持管理費はいくらか

総額は約2億円でその内訳は樹木の剪定作業に約1億2千万円、害



Q

富山型や共生型といわれる福祉サービスの現状は

A

共生型は3事業者が提供し、認可申請は県の所管



まこと こばやし 小林 真



映像はこちらから

や、インクルーシブ支援員、教員業務支援員配置などで取り組んでいる。地域との協働を強められないか。学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール化を図っている。明戸小・朝の学校さんぽ、大奇小・お迎えさんぽは県教委に表彰された。

より魅力的な市政のために

統一地方選挙投票率向上の方策は、投票率向上に寄与するよう、今後も啓発活動を行っていく。

環境や食がテーマの無作為抽出による市民会議の開催の可能性は、協働推進課がテーマを所管する部署に繋いで協議していく。



市街化促進地域外では、「コミュニティの維持に努めながら緩やかな集約を図る」



# 議員全員協議会

市から議会へ次のような報告がありました



## 派遣型救急ワークステーションについて

### 1 概要

救急救命士等の教育体制を拡充するため、病院へ救急車1台と救急救命士を含む救急隊員3名を派遣して、救急出場体制を維持しながら、医師の指導に基づく病院実習を行います。救命処置の質の維持向上に努め、救急要請があれば、その場から出場する取組です。

### 2 効果

- ①通常の病院実習は、勤務体制を考慮し1名ずつ派遣しているが、隊として派遣することで勤務体制に影響がなく、勤務中に3名同時の病院実習が可能となる。
- ②既存の病院実習に加え、派遣型救急ワークステーションによる教育体制拡充により、隊員の知識・技術が向上し、救急サービスの更なる充実が図れる。
- ③医師・看護師等に救急隊の業務理解が得られ、信頼関係が構築できる。
- ④大規模災害時などは、病院側とより連携した災害活動が行える。

3 協定締結先 深谷赤十字病院

4 運用開始 令和5年4月1日



## 6月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
				6/1	2	3
				(開会) 議案説明	議案説明	
4	5	6	7	8	9	10
		議案質疑	議案質疑	福祉文教 委員会	産業建設 委員会	
11	12	13	14	15	16	17
	総務 委員会			一般質問	一般質問	
18	19	20	21	22	23	24
	一般質問		採決 (閉会)			

### 編集後記

3月議会は新年度の予算審議がある重要な議会でした。今年は4年に一度の改選の年。今期で議会を去る議員が8名。それぞれの思いを一般質問や、予算審議にぶつけました。4月には候補者の皆さんにより、議席獲得に向けた市議会議員選挙が挙行され、議会だより発行時には新メンバーが決定します。未来(あす)の深谷市を託せる人が選ばれていることでしょう。

令和4年度編集委員として最後の仕事となりました。ご愛読感謝いたします。 中矢 寿子

### ふかや発見



今号の表紙は

秩父鉄道ふかや花園駅  
『花いっぱいでお出迎え大作戦』

花園小学校生き物委員会5年生の皆さんがデザインしました。このデザインを基に、花園小・中学校の児童・生徒、保護者、地域の皆さんで花を植え、花でいっぱいになった駅ロータリーで、お客様をお出迎えしています。

### 編集委員会

〔編集責任者〕 議長 茂木 一郎

〔委員長〕 田口 英夫 〔副委員長〕 佐久間 奈々

〔委員〕 田島 秀興 福島 秀樹 八須 由憲  
小林 真 山出 秀明 繁 由香

議会の生中継・録画配信  
<http://fukaya.gijiroku.com>

